

意見交換会実施報告書

開催日時		平成24年6月5日 午後7時30分 ～ 午後9時00分
開催場所		石越公民館
出席議員		代表者 及 川 昌 憲 司会者 岩 淵 勇 一 報告者 武 田 節 夫 記録者 沼 倉 利 光 八 木 しみ子 工 藤 淳 子
参加市民数		7人
実施 内 容 報 告	議会報告	問 常任委員会の行政視察は遠くに行っているが、身近なところもいいところがある。どう効果が生かされているのか。
		答 100%とはいかないが、生かされていると思う。登米市で必要なことが先進地ではどのように取り組んでいるかなど、視察したことを議会の中で提案し、議論している。
		問 市の借金が1000億円あると記憶している。それを減らすために、議会としてどうやろうとしているのか見えない。市民の生活は仕事もなく、大変になっている。市の職員はそんなにいないんじゃないか。削減計画が甘いのではないか。議員は議員定数削減など身を削るということをやる気があるのか。
		答 財政再建の中で職員は450人削減する方向になっていて、計画通りに進んでいる。議会の中でもっと議論していかなければならないと思う。議員定数については、3年前に48名から30名の定員になった。個人的な意見としてだが、どれくらいとは言えないが、減らすべきと思っている。
		問・最近の職員の人事異動をみると、中途退職者や、何カ所も兼務している人がいる。負担が重く、サービス低下にならないか。職員削減は、よく考えてやってもらいたい。
		・空き家がどんどん増えている。私有財産なので強制的にやることはできないが、そういう景観をどう考えているのか。
		答 空き家対策は議会の中でも、充分議論されていない。これから検討していきたい。
		問・登米市の財政基盤が心配だ。栗原市の財政計画では、職員の削減などにより5年間で100億円減らす計画があるが、登米市の中ではそういう計画がない。行財政計画について、議会で質問してほしい。
		・病院事業会計で23年度は単年度黒字になっているというが、3・4月の外来患者は減っている。第2次改革プランは病院長、管理者には、力のある人、実行力のある人が必要。
		答・財政問題は、議会としてもっと研究して結論を出したいと思う。病院事業については、参考になる意見なので今後の検討課題として取り組んでいきたい。
		問・人件費を減らすのはいいが、減らし方に問題がある。市の職員がどれだけ必要な仕事をやっているのか、仕事の見直しをして職員を減らしていくべ

		き。そうしないとサービス低下になる。 ・議員は今の定数の中で、十分活動できているのか。議員定数を減らしてもできるのか、意見を聞きたい。 ・具体的にどういう議会改革をめざすのか。 答・行財政改革の中で職員をどう見ていくのか、5年、6年の中でどのように改革していくのか、市民サービスの指針ともなるので、これからもやっていきたい。 ・議員定数については、一人ひとりの意見は話すことはできない。 ・議会改革の具体的な内容については、基本条例に沿って進めていくもの。その具体的なものが意見交換会。その中で出されたものを議会全体で議論して、政策・立案していく「企画調整会議」を設置している。 問・自主防災組織に30万円の補助金、もっと平等にできないか。 ・市営住宅の入居既定の中で「車はだめ」と言われているのに、一家で4台ももっている人がいる。日常的によく見てほしい。 問 放射能汚染の稲わらは2年で本当に撤去できるのか。できなければ、住民に早めにきちんと説明して、後手に回らないようにしてほしい。 答 議会として、市にしっかり働きかけている。
	意見交換	・合併したことによって、地域格差がかなり出た（迫町との）。無駄な仕事をしていないか、メスをいれてほしい。 ・石越駅前の駐車場の駐車台数が40台ということだったのに、実際は20台になった。どうしてこうなるのか。 ・原発問題、女川原発に対してどういう対策をとるのか、議会として考えてほしい。
	要望・提言等	・石越中学校に体育館がなくて不自由している。プレハブでいいから作ってほしい。 ・石越幼稚園の床、ゆがんだままになっている。子供たちの平衡感覚がおかしくなってしまう。早く治してほしい。
	その他 特記事項	